

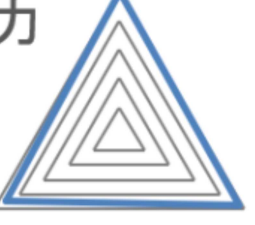


1 「さ・ぬ・き力」(非認知能力)に関する学級(35名)の実態

授業づくりの重点項目 目標への情熱		
<p>社交性</p> <p>さ力</p>  <p>共感性 協調性</p>	<p>ぬ力</p>  <p>粘り強さ 忍耐力</p>	<p>自分を信じる力</p> <p>き力</p>  <p>レジリエンス 自制心</p>
<p>「共感性」と「協調性」の自覚度が高い。特に「協：友達の話最後まで聞こうとしている」や「共：友達が困っていたら声をかけている」の質問項目に肯定的に答えている。朝の会のスピーチに興味をもって聞き、積極的に質問する子供や、活動後の片付けで困っている友達がいたら助けることができる子供が多い。</p> <p>「社交性」は他と比べて自覚度が低くなっている。友達に気軽に声をかけることに抵抗感を抱いている子供が数名いる。</p>	<p>「目標への情熱」の自覚度が高い。特に「授業や生活の中で新しいことを知るのが楽しい」の質問項目に肯定的に答えている子供が多い。どの教科の授業にも意欲的に取り組んでいる子供が多く見られている。</p> <p>「粘り強さ」の自覚度も高い。特に、「失敗を恐れずに行動しようとしている」と肯定的に答えた子供が多く、図画工作の授業においても、新しいことに取り組むことへの意欲の高さに加え、何度も試す場があったことや、失敗を責めない支持的風土による結果だと考えられる。</p>	<p>「自分を信じる力」の自覚度が高い。特に「自分には得意なことがある」という質問項目には、全員が肯定的に答えている。</p> <p>「レジリエンス」の自覚度は他に比べて低く、中でも「嫌なことがあってもすぐに気持ちを切り替えられる」の項目に否定的に答えている子供が数名いる。こだわりが強く、自分の思い通りにいかないことや、イメージに近付かないことをネガティブに捉えて、いろいろな方法に目が向かない子供の姿が考えられる。</p>

2 教科に関する学級の実態

- ・ 図画工作で友達と活動することが好き。(肯定的回答：33名)
- ・ 友達と活動すると自分にとっていいことがある。(肯定的回答：34名)
- ・ 1年生の図工の授業で1番楽しかったこと
 - ①造形遊び(20名)・・・理由 砂で自由に形をつくったから、色水を友達と合わせたらきれいだったから、色水をいろいろな場所に置いたら光ってきれいだったから など
 - ②鑑賞(10名) ③工作に表す(3名) ④絵に表す(2名)

3 個別支援が必要な子供の実態

A児…発想力豊かで図画工作においてもさまざまな世界を想像して絵を描くことが得意である。自分のイメージをもてるが、強くこだわるあまり、思うように製作が進まなかったり、少し難しいと感じたりすると投げ出しがちな面がある。また、友達が自分のイメージを共有してくれないことをネガティブに捉え、友達との活動に対して消極的なこともある。

第2学年東組 図画工作科学習指導案

「カムカム紙カミワールド ～つないでつるして～」

学習指導者 毛利 二実子



1 本題材で目指す『自ら伸び続ける子供』の姿

【詳細はこちら】

本題材では、細長い紙（新聞紙，チラシ）をどんどんつないでいく造形活動を通して、できる形や色の感じを捉え、つなぎ方やつるし方，並べ方を工夫していく姿を目指す。子供たちは前題材で新聞紙を破いたり，丸めたり，まとったりし，変身して遊ぶという活動をしている。その後，変身させる対象を自分から身の回りの空間へと広げたいと感じ，「この広い多目的室を新聞紙やチラシを使って面白い場所（「紙カミワールド」）に変身させるにはどうすればいいかな」という問いをもつ。思い思いに多目的室を飾りながら「ここから向こうに届くようにするには，つないで長くしよう」「ジグザグにつないでみたら面白そう」「カラフルだからチラシを使ってみよう」などと，造形活動を楽しむ。自分の思いを表現していく過程において，少し離れて見たり，つなげた紙の下をくぐって見上げたりするなど，自分たちがつくったものを鑑賞することで形や色を基にその面白さに気付き，つくり，つくりかえ，つくっていく。そして，「トンネルにしたいくて柱の間をつないだけれど，離れて見ると間が広いな。もっとたくさんつなごう。友達とつなげたいな」「いいね。上からつるしているのもいいな。チラシを使うとカラフルだよ」「それなら，1本だけじゃなくて何本もつくろうよ」「なるほど。他のとつなげてクモの巣みたいにして下から見たいな」などと友達と関わり，活動に広がり生まれ，自分たちの活動で多目的室全体がより面白くなっていくことを感じながら，新たな発想や構想を繰り返してつくっていく。このように，新聞紙やチラシの形や色などを基にし，造形的な活動を考え，自分の思いを生かしながら楽しんで取り組んだ子供たちは，「紙カミワールドをたくさんの人に見てもらいたい」という思いをもち，たくさんの人に見てもらい，称賛の言葉をもらうことで自分たちの造形活動のよさを実感するだろう。さらには自分の教室など身の回りの空間を変える面白さに気付き，「別の場所も変身させたい」と，活動を発展させていくだろう。

2 題材計画と働きかけの概要（本時 3/3）

㊦：価値付け

学習の流れ	働きかけ
<p>①② 多目的室を「紙カミワールド」に変身させよう</p> <p>細長い紙を使ってどんなことができるかを考え，紙をつなぐなど，様々な方法を試す。思い思いに試しながら，多目的室を面白い空間「紙カミワールド」に変身させたいという思いをもつ。多目的室の空間のどこを変身させようかと考え，友達の工夫を見て，その面白さに気付き，友達とつなぐことで空間を変身させていく活動が広がることを感じる。つないだり，輪にしたりした新聞紙やチラシからしたいことのイメージを膨らませ，つないだり，つるしたりなどと，思い付いたことを次々に試してつくっていく。</p> <p>③ もっと工夫した「紙カミワールド」に変身させよう</p> <p>見る距離や角度を変えて鑑賞することで形や色の視点で，つなぎ方などの面白さに気付き，多目的室をさらに面白い空間にするための工夫を考え，つくっていく。友達と関わりながら，新たに発想や構想を広げたりし，つくりかえていく。変身させた多目的室「紙カミワールド」を他のクラスの人にも見てもらいたいという思いをもつ。</p> <p>課外 「カムカム紙カミワールド」</p> <p>「紙カミワールド」を全校生に公開する。</p>	<p>見通し 情【やってみタイム】②③</p> <p>前時までの活動の写真を提示したり，自分のアルバムを振り返ることで，多目的室が面白く変化していることを感じやすくし，本時の課題解決への意欲を高める。㊦多目的室の変化の面白さを感じて，さらに変身させたいという思いをもっている姿に共感する。</p> <p>行動 粘【見るミルポイント】②③</p> <p>自分がつくりつつあるものや友達のつくっているものを鑑賞し，新たな発想をしたり，自分に取り入れたいものを見付けたりできるように，鑑賞の視点を選べるようにする。㊦振り返り場面で，友達の活動を鑑賞し，様々な方法を試したことで「紙カミワールド」が面白くなったことを称賛する。</p> <p>振り返り 信【紙カミアルバム】①～③</p> <p>自分のお気に入りの場所を写真で記録した後，振り返りシートに記述し，自分の頑張りを実感できるようにする。さらに次にしたいことをペアで伝え合う場を設定し，表出できるようにする，㊦自分の頑張りを実感している姿や次にしたいことを見いだしている姿を称賛する。</p>

3 本時の学習

目標	細長い新聞紙やチラシを思い思いにつないだりつるしたり，並べたりしてできた形や色の面白さや友達の工夫に気付き，多目的室を「紙カミワールド」にするための活動を考えることができる。
----	---

学習活動と働きかけ	主な子供の意識			
見通し	1 学習課題を設定する。 【やってみタイム】 【目標への情熱】	細長い紙をつないでいくのは楽しかったよ。 どんどん多目的室が面白い「紙カミワールド」に変身していくよ。 もっと面白い「紙カミワールド」にする工夫はないかな。		
	もっと工夫して「紙カミワールド」に変身させよう			
行動	2 前時につくったものを鑑賞する。 【見るミルポイント】 【粘り強さ】	自分のつくっているものを離れて見てみよう。 どんどんつないでもっと長くしよう。向こうの壁まで届くかな。	丸い形が好きだから，丸めて輪にして輪飾りみたいにつないでいるよ。遠くから見ても，丸い輪がつながっているのは面白いな。	下から見るとひらひらが面白いよ。もっとたくさん並べてみるのもいいな。くぐって遊ぶと面白いよ。
		まっすぐだけよりもジグザグも面白いな。途中からジグザグにして，あっちの柱の方へつないでみよう。	チラシを使うと，色がカラフルになってきれいだな。新聞紙だけじゃなくて，チラシを使って輪っかをつないでいこう。	○○さんのは並べて貼るだけじゃなくてひもにつるしてダイナミックだな。あんな風と一緒に作りたいたいな。
		じっくり見てみると面白さや工夫がよく分かったよ。早く続きがしたいな。		
振り返り	3 工夫を考えたながら「紙カミワールド」をつくっていく。	長くして柱と柱の間をトンネルのようにつなぐよ。こっちとつないでみようよ。	いいよ。ジグザグとまっすぐが合体して面白いトンネルになるよ。どんどんつなごう。	僕も一緒につなぐよ。一本だけじゃなくて，何本もつくったらどうかな。
		いいね。それならつるしていろんな方向に分かれるようにしてみようかな。	なるほど。つるして他のと間をつなげたらダイナミックなクモの巣みたいになるかもしれないよ。	面白そう。やってみよう。下から見上げたら面白そうだね。ひらひらもつけてみよう。
	多目的室が面白い「紙カミワールド」に変身したよ。			
	4 本時の学習を振り返る。 【紙カミアルバム】 【自分を信じる力】	ジグザグに変化していく形のトンネルを完成させられたからお気に入りの場所になったよ。	友達とアイデアを出しながら，いろいろな方法を試して，クモの巣みたいにできたから，満足したよ。	友達の工夫を見たら新しいことを思い付いて「紙カミワールド」が面白くなったよ。
	もっといろんな人に見せたいな。		2 東の教室もやってみたいな。	

評価	多目的室を面白い空間にしようと，色や形を基に，つなぎ方などを多様に試している。また，友達と関わりながら，できた形や色の面白さを感じ取り，多目的室の空間を変化させる楽しさを味わい，次にしたいことを考えている。 <div style="text-align: right;">【方法：様相・記述】</div>
----	---

働きかけの詳細資料

～見通し～ 情【やってみタイム】(2, 3時間目)

「多目的室を面白い空間『紙カミワールド』に変身させよう」という目標を設定し、多目的室が徐々に面白い空間に変わっていく様子の一部を複数の視点で撮影し、提示することで、多目的室全体の広い範囲の変化を視覚的に捉えやすくとともに、自分のつくっているもの(『紙カミアアルバム』)を振り返ることにより、変化することの面白さや、多目的室が『紙カミワールド』に近づいていることを実感し、本時さらにつくり、つくりかえ、つくっていくという思いを高めることができるようにする。

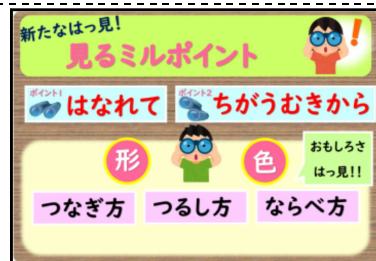


【変化の様子の写真】

価値付け 多目的室の変化の様子を確認した後、「何もなかった部屋が面白くなっている」「紙カミワールドに近づいている」などと発表したり、「今日はどうしたいですか」という問いに対して「続きがしたい」「もっと工夫したい」と発言したり、友達の発言にうなずいたりしている姿を「もっと面白い紙カミワールドにしようと思っているんだね」などと共感する。

～行動～ 粘【見るミルポイント】(2, 3時間目)

自分や友達のつくりつつあるものを鑑賞し、その面白さに気づき、新たに発想し、その後の活動に生かしてつくりかえていくことができるようにする。鑑賞の視点(「見るミルポイント」)を掲示しておき、離れて見たり、角度を変えて見たりし、形や色を基に、つなぎ方などの面白さに気づき、粘り強くさらに自分で活動を考えることができるようにする。どのポイントを使って鑑賞するかを問うことで、自分が鑑賞する視点を明確にもたせたり、鑑賞後、お互いのつくりつつある



【見るミルポイント】

ものから発見した工夫を、どのように自分の活動に取り入れたいかを表出させ、「僕もどどんつないで長くさせたいんだ。合体させよう」「いいね。何本もつなげてみよう」「クモの巣みたいになったら面白いね」などと友達と試行錯誤しながら粘り強くつくりかえていくことができるようにする。自分の思いやこだわりが強く、友達との交流に価値を見いだせないA児には、一緒に鑑賞をして感じていることを具体的に聞いて共感し、友達の作品の面白さを問うたり、必要感をもって関わるように、「〇〇さんが同じようにしているから、アドバイスできるかな」と意図的な交流をさせたりする。また、思うようにいかないときには、どうしたいかという思いに共感し、一緒に活動したり、面白さを伝えたりすることで、前向きに活動に取り組むことができるようにする。

価値付け 振り返り場面で友達のつくっているものを鑑賞し、自分の表現に取り入れ、粘り強くつくりかえた姿を「友達の工夫から発見したことをヒントにしてついたり、つくりかえたりしたから、『紙カミワールド』が面白くなったね」などのように称賛する。

～振り返り～ 信【紙カミアアルバム】(1～3時間目)

題材を通して、お気に入りの場所を写真で記録し、つくったもの(つくりつつあるもの)に題名をつける。お気に入りの理由も記述することができるようにし、「紙カミアアルバム」として残していくことで、自分のお気に入りの場所が増えていくことを視覚的に捉え、実感できるようにする。本時では、「いろんな変身をした紙カミワールドをこの後、どうしたいですか」と問い、もっとしたいことをペアで伝え合う時間を設け、表出させる。



【紙カミアアルバム】

価値付け 「紙カミアアルバム」を振り返ることで、空間が変化していく面白さを感じ、頑張りを実感している姿を称賛したり、「たくさんの人に見てもらいたい」「次は他の場所を試してみたい」などという思いを表出している姿について「さらにもっとしたいことを見付けられているね」などと称賛する。